

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名
2 東書	地図 721	新しい社会科地図 代表著作者 小泉武栄

1. 編集の基本方針

(1) 地図帳の活用方法(読み方, 学び方)が習得できます。

小中学校間の接続に配慮し, 「地図でスタート」を巻頭に設けました。生徒自らが地図帳を読みながら, 読図の基礎・基本を習得できるように構成しています。

資料図で構成したページの上には, 地図を活用した学習活動の過程を「チャレンジ」として目立つように示し, 生徒が自ら地図を活用して学習に取り組めるように配慮しています。

(2) 世界と日本の地理的事象の習得に役立ち, 国際理解を深められます。

日本の国土や領域の範囲, 周辺諸国との関係などを多面的にとらえる学習ができます。

世界や日本全体にかかわる資料図と, 世界や日本の各地域で取り上げた資料図を関連させ, 全体と地域を関係づけて理解させることができます。

194か国の国旗を全て掲載しています。各国の地理的特徴や歴史的背景と関連して学習できます。

(3) 歴史的な分野や公民的分野にも活用できます。

一般図に歴史的な事項を掲載したほか, 歴史的な観点の資料図も採用しています。また, 公民的分野でも活用できる地球環境や国際関係などの, 多様な資料図を豊富に掲載しています。

「身近な地域の調査」では社会参画の視点を盛り込むとともに, NIEにも配慮しました。

2. 編集上の特色と留意点

(1) 地図の活用を促す新しい工夫

各地域の特色が浮き彫りになるように地図記号に注目させました。

・一般図の活用度を高めるとともに, 地域の特色を読み取りやすくするために, 世界と日本の一般図に「注目したい記号」を表示しました。一般図に続く資料図の活用にもつながります。

(例)南アメリカ州の一般図(p.39-40) = 注目したい記号 主な公用語
資料図(人種と民族)に続く。

(例)九州地方の一般図(p.61-62) = 注目したい記号 自動車工場 火山
資料図(北九州の産業構造の変化)に続く。

地図帳を使った指導が展開しやすくなるように「チャレンジ」を新設しました。

- ・「チャレンジ」では地図を活用した学習展開例を3～4段階で示しました。

(例) 関東地方の資料図(p.89)... 千葉県で生産量が全国一位の農産物を3つあげてみよう。

関東地方の他の県でも生産量が全国1位の農産物があるか、調べてみよう。(以下省略)

資料図には「読図の一步」を例示し、地図を読み取るヒントとなるようにしました。

- ・「読図の一步」は、比較の視点や変化の様子など、読解のリテラシーを高めることができる内容としました。表現力、判断力、思考力の向上への一步ともなります。

(例)「中国の地域性」(p.26)...少数民族の分布を赤色で囲んでみよう。

(2) 活用しやすい地図

世界を大きくとらえることができる全体図(p.1-16)

- ・世界の国々、世界の自然(地形)、世界の自然(気候)は地理的分野の基本的な図で活用頻度が高いので巻頭にまとめています。世界の地理的な特徴を確認できます。

巻末(p.149)に事項別に遺跡や史跡の索引も掲載しました。

- ・歴史的な分野や公民的分野でも活用できます。

検索に便利なツメと位置図を掲載しました。

- ・検索しやすいように右ページの脇にツメを設けています。また、各地図が地球上のどこに位置するのかが一目でわかるように、

地図の右下には地球儀をかたどった位置図を掲載しています。



折込みで紙面を立体的に構成しました。(p.4-5, 10-11, 94-95)

- ・p.4の地図記号の折込みページを左に開いておくと、どの地域でも地図中の地図記号を確認することができ、地図記号の習得に役立ちます。

統計資料が豊富です。

- ・統計資料と地図を見開きページに並べて、両者を関連づけて考察できるようにしています。

(例) 世界の気候の資料(p.103-104)、世界の農林水産業(p.105-106)、日本の農林水産業(p.125-126)など

索引を使いやすくしました。

- ・世界の独立国の国名と首都名を赤色で表示しています。
- ・日本の全市町村名を「まち」「ちょう」「むら」「そん」まで掲載しています。正確な呼称を習得できます。(例)いけだちょう池田町(北海道)いけだちょう池田町(福井)いけだちょう池田町(岐阜)いけだまち池田町(長野)

(3) 多様な学習活動に対応できるように、二部構成

- ・基礎的、基本的な知識の習得と地図帳の活用への技能を身につけることができる1部と、習得した内容を深め、探究につながる2部との構成としました。

…この意図するところを、巻頭のp.4に示しています。

1部 (p.1-102)	一般図+厳選した資料図(地図を活用した学習展開例を3~4段階で例示)
2部 (p.103-139)	資料図+統計資料(両者を融合させ、相互関連を深められるように構成)

(4) 人権尊重への配慮

資料図には人権の観点を取り入れました。

(例) p.44 アメリカ合衆国の人々, p.128 外国人登録者数, p.138 アイヌの人たち

同年代の男女のキャラクターを配置して、協力して学習が進められるようにしています。

特別支援教育への配慮から、すべての生徒の分かりやすさにつながるように「地図でスタート」を巻頭(p.4-6)に設けました。小学校の学習内容と連携した内容です。

(5) 目にやさしい表現

各図とも、見やすく落ち着いた色調で表現しています。

・各地域の高低差など地形の特徴がわかりやすく、日ごろ見慣れた等高線とその段彩で表現しました。地名や地図記号などが見やすくなっています。

・教室の蛍光灯の下で紙面が反射しないように、小学校用、高等学校用ともに独自の紙質を採用するとともにインクにも工夫を施しています。

カラーバリアフリーに配慮しています。

・国名や都道府県名の活字を黒色の線で縁取りしたほか、市街地は黄色にして平野部の緑色との区別が判読しやすいようにしています。

・資料図では、色の違いに加えて矢印の形状も違えるなどして表現に配慮しました。

(例) p.52 日本周辺の海流の表現(暖流 寒流 - -)

教育基本法との関連

・改正教育基本法の理念を踏まえ「生きる力」を育成し、知識や技能の習得と思考力や判断力、表現力の育成のバランスを重視しました。

1 生徒の知的好奇心を喚起するように、各種の基礎的な資料を効果的に配列しました。

2 生命尊重、環境保全に寄与するように、世界遺産やラムサール条約登録湿地を地図記号で表現しました。

3 伝統と文化を尊重する観点から、日本各地の文化財や顕著なお祭りなどを掲載しました。

4 我が国と郷土を愛し、他国を尊重する観点から、194か国の国旗を掲載しました。

3. 学習指導要領との関連

ページ	本地図帳の内容	地理的分野	歴史的分野	公民的分野
1-16 17-48 103-120	世界全体の地図 世界各地の地図と主題図	(1)ア, イ, ウ, エ	(1)～(6)	(1)～(4)
49-102 121-138	日本全体の地図 日本各地の地図と資料図	(2)ア, イ, ウ	(1)～(6)	(1)～(4)
(83-84)	身近な地域の地図	(2)エ	(1)	(1)～(4)
139-149	さくいん	(1)(2)	(1)～(6)	(1)～(4)
151-152	日本全体の地図	(2)ア, イ, ウ	(1)～(6)	(1)～(4)

社会科教科書との関連

地理的分野

世界地図の配列は教科書と同一

- ・アジア, ヨーロッパ, アフリカ, 南北アメリカ, オセアニアという大陸を意識した配列としました。

日本の諸地域で同じ視点の教材

- ・九州地方をはじめとする日本の諸地域で取り扱う内容は、地図帳(九州地方では p.61)の「注目したい記号」を活用して展開できます。

資料図や統計資料が豊富

- ・この項目に十分なページをさき、多様な学習活動に配慮しています。(p.101-118)

歴史的分野

歴史的な観点の資料が豊富

- ・「約 100 年前の世界」(p.15-16), アジア各国の独立(p.18), 「商業都市としての歴史を持つ大阪」(p.74)など歴史的な視点からまとめた資料図を掲載しています。

歴史的な地名や遺跡を強調

- ・歴史的分野の教科書で扱う地名や遺跡には、紫色に白い文字で強調しました。例えば、中部地方の地図(p.77-78)では長篠古戦場など 20 箇所を数えます。

巻末(p.149)に遺跡や史跡の索引も掲載・歴史的分野において地図活用につながります。

公民的分野

公民的分野の資料が豊富

- ・国際理解(p.33 ヨーロッパの統合と格差), 平和教育(p.131-132 長崎・広島), 情報教育(p.58 インターネットの普及率)などに関する資料図を取り入れています。

環境問題を系統的に展開

- ・地球環境を特集した『66 億人がくらす地球の環境』を巻頭(p.7-10)に設けたうえで、自然と人間との関係が各地域の学習で系統的に考察できるように配列しています。

巻末(p.149)に国際機関の索引も掲載